

首都圏・関西圏における交流拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略]				関連する県の計画等		[]												
[解決すべき問題・課題]																			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線の開業に向け積極的に露出を高め知名度を向上させる必要がある。また、福井県出身の経営者や学生のネットワークを強化し、関係人口の創出が必要。 ・ フリーランス向けのUIターンや、IT企業向けのサテライトオフィス誘致を展開したいが、本県とゆかりのない企業等には接点がないため説明の機会を逃している。 																			
[事業目的]																			
福井への企業誘致、観光誘客、UIターンや販路拡大につなげるため、首都圏・関西圏における企業・マスコミ等や県内出身学生とのネットワーク強化を図る。																			
[事業内容]																			
<p>(1) コミュニティ型ワークスペースを拠点とした新たな人的ネットワーク構築</p> <p>(2) 福井県勤務経験者や福井県出身学生等と協力した福井県の魅力発信</p>																			
[受益者] —						[想定される受益者数] —													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況	コミュニティ型ワークスペースで開催するサテライトオフィス説明会や販路拡大等の県主催イベントに各市町にも参加を呼びかけ、協働して福井をPRする。					他県の状況													

首都圏・関西圏における交流拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											2 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,801					5,801								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					4,198	5,801	大阪での新規拠点契約における使用料を増額							
2月現計予算額の推移					2,099									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	企業立地を検討する企業等との個別面会・商談、市町への紹介件数 (目標) 実績				(90) 28	(90)	(110)	(135)	東京事務所60件、大阪事務所30件					
活動指標	福井県勤務経験者や県出身学生とのネットワーク構築 (目標) 実績				(200) -	(200)	(240)	(300)	東京事務所100人、大阪事務所100人					
[事業の評価]														
前年度の実績					実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年2月以降WeWork内でのイベント中止、飲食の提供中止等の使用制限されているが、6月下旬以降、オンラインイベントへの参加を行い、情報収集や企業等と交流(計30回) ・令和3年3月に、WeWork東京、大阪、台北が連携した「日本酒PR・試飲会」を開催し、福井の地酒と食材のPRを実施。					・大阪での新規拠点契約における使用料を増額				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
									□ 継続	□ 休止	□ 完了			
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

関西の学生グループによる福井応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面での交流ができない状況下での、県出身学生ネットワークの維持・拡大継続の方法 ・ 関西在住の県出身学生同士や、学生と県内企業とが、実際に面会する機会の創出 															
[事業目的]															
関西在住の県出身大学生のネットワーク化を図るとともに、学生による福井県の情報発信等の活動を支援し、将来的なUターンにつなげる。															
[事業内容]															
<p>県出身大学生の学生ネットワークの拡大、県内企業とのつながりの強化</p> <p>(1) オンラインセミナーやイベントの開催</p> <p>(2) オンラインビジネスプラン作成会の実施</p>															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 関西の学生グループによる福井応援事業 (交流文化部) (役割分担) (学生による福井県の情報発信活動を支援) 学生記者による県内企業や県内での働き方の魅力を発信 学生記者の募集や情報発信に、学生グループのネットワークを活用							
市町との連携状況						他県の状況									

関西の学生グループによる福井応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営								R2 年度	経過年数				
補助率	-								2 年					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	880				880									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				1,609	880	オンライン中心の事業内容への変更による減額								
2月現計予算額の推移				0										
決算額の推移														
前年度までの主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績							学生ネットワークの強化・組織化に係る予算のため、目標の設定にそぐわない。事業実施においては、関係部局と連携し情報発信の強化やUIターン促進に努める。						
活動指標	(目標) 実績							学生ネットワークの強化・組織化に係る予算のため、目標の設定にそぐわない。事業実施においては、関係部局と連携し情報発信の強化やUIターン促進に努める。						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
コロナ禍で学生によるキックオフイベント開催が困難になったため、6月から、学生と県内企業のビジネスプラン作成会を試験的に開始した。令和3年2月末時点で2チーム計25回のオンライン会議を実施している。うち1チームは飲食店での持ち込み野菜の調理サービスを提供、またもう一方も県内スポーツチームの広報イベント開催を予定しており、学生同士の関係強化と県内企業との協業機会創出に繋げている。				・オンライン中心の事業内容への変更による減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 729			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

京都事務所運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]												
社会減（転出超過）による本県人口の減少												
[事業目的]												
学生や訪日外国人の多い京都においてU I ターンの促進や関係人口の拡大、インバウンド対策等を強化する。												
[事業内容]												
<p>京都事務所の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本県の営業PR・・・観光情報の発信、物産品のPR、京都における「ええもん市」の開催、ふるさと納税の営業・PR、関西企業と県内企業のマッチング支援 (2) U I ターンの促進・・・福井県内で必要となる人材（観光サービス人材やインバウンド関連人材）のスカウト 関係する教育機関（大学・専門学校）等への情報提供・営業活動 (3) 関係人口の増加・・・福井県内で地域活動を実施する学生への支援や県内情報の提供 (4) インバウンド誘客・・・ホテルやゲストハウスにおける福井県観光情報の提供 												
[受益者] —						[想定される受益者数] —						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

京都事務所運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,754	1,877			1,877	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					7,850	3,754	・ 開設費用の減					
2月現計予算額の推移					5,622							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								京都での拠点運営にかかる経費であるため、目標の設定にそぐわない。 事業実施においては、関係部局と連携し、UIターン促進やインバウンド誘客 拡大に努める。			
活動指標	(目標) 実績								京都での拠点運営にかかる経費であるため、目標の設定にそぐわない。 事業実施においては、関係部局と連携し、UIターン促進やインバウンド誘客 拡大に努める。			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
・ 京都事務所を6月1日に開設				・ 開設費用の減				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	△ 4,096	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

長期ビジョン推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	県営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める (総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]															
長期ビジョンが目指す将来像の実現に向け、県民への長期ビジョンの周知および県民アクションの喚起															
[事業目的]															
7月に策定した福井県長期ビジョンが目指す将来像を県民が共有し、「チームふくい」で実現するため、県民に広く長期ビジョンを周知するとともに、ビジョン実現に向けた県民活動を促進する。また、長期ビジョンおよびふくい創生・人口減少対策戦略に基づいて実施する事業の進捗管理、効果検証を行う。															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ○長期ビジョン推進懇話会の開催 ○県民アンケートによる県民意識調査の実施 ○長期ビジョン冊子の配布 ○長期ビジョン出前講座・ワークショップの実施 ○有識者等によるセミナーの開催 															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	ビジョン策定に当たり、県内すべての市町で市町別意見交換会を開催 (R1.8~9月)					他県の状況									

長期ビジョン推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	県営											経過年数			3 年
補助率	-														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	4,096				4,096										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移			0	7,468	4,096	・ビジョン策定による印刷経費等の減額									
2月現計予算額の推移			6,614	7,468											
決算額の推移			5,461												
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	ワークショップの参加者数 (目標)			(120)	(120)										
	実績			32											
活動指標	ワークショップの開催 (目標)			(3)	(3)										
	実績			6											
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
・FUKUI未来トーク6回、出前講座21回(合計1108名)				・ビジョン策定による印刷経費等を減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 3,372				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

SDGs推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]															
<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs そのものの認知度、理解度が低い ・ SDGs に関心があっても、何から取り組んでよいかわからない企業・団体が多い 															
[事業目的]															
県民が主役となり、持続可能で多様性のある社会を実現するため、SDGsの理念を県民に普及するとともに、その達成に向けた行動を促進する。															
[事業内容]															
<p>(1) 「ふくいSDGsパートナー」の登録拡大 SDGsの理解を深めるためのセミナーおよび登録証の交付式を実施 公式ロゴマークの愛称募集による周知や登録企業・団体等の活動をSNS等で発信</p> <p>(2) 「ふくいSDGsパートナー」との協働 登録企業・団体等の活動活性化に向けた取組みへの支援</p> <p>(3) SDGs推進人材バンクの創設 登録企業・団体等の中でSDGsの取組みへのアドバイスができる人材リストを作成・公表</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

SDGs推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											2 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,462		2,231			2,231		地方創生支援事業費補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					1,058	4,462	公式ロゴ愛称募集経費、パートナーへの応援金の増額							
2月現計予算額の推移					1,058									
決算額の推移														
前年度までの主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	SDGsパートナーシップ会議参加団体数 (目標)				(150)	(300)	(500)	-	企業のSDGs達成に向けた行動を促進するため、会議に参加する企業数の拡大を図る。(累計)					
	実績				287									
活動指標	県・民間団体の活動内容の広報 (目標)				(1)	(10)	(10)	-	SDGsに関する県および民間団体の取組の認知度を高める					
	実績				2									
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
・「福井県SDGsパートナーシップ会議」を創設し(8月)、会議に参画する企業・団体等を「ふくいSDGsパートナー」として募集・登録(登録数:287団体(2月末現在)) ・県民からの公募により、福井県版SDGs公式ロゴマークを作成 ・11月SDGsフォーラムを開催(参加者:250名)				・公式ロゴ愛称募集経費、パートナーへの応援金の増額				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくい政策デザイン推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]					関連する県の計画等	[]								
[解決すべき問題・課題]															
<p>経済のグローバル化やAI・IoTなどの技術革新、ニューノーマル・LGBTなどの多様な価値観の進展など、行政を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、従来のアプローチのみによる政策立案には限界があり、デザイン思考の導入など新たな手法が求められている。</p>															
[事業目的]															
<p>デザインの活用領域を「産業デザイン」から「政策分野」まで広げ、担当部局と県内外のデザイナーをつなぎ、デザイナーのアイデアを政策に反映する仕組みを構築する。また、顧客視点で物事の本質を見極める「デザイン思考」の考え方を政策立案につなげるため、職員向け研修を実施する。</p>															
[事業内容]															
<p>(1) 「政策デザイン」相談ワークショップの実施 ・各部各課が抱える課題に対し、県内デザイナーとともに真の課題や解決すべきことは何かを顕在化させる課題リサーチを実施 等</p> <p>(2) 「政策デザイン」セミナーの開催 ・国内のトップクリエイター等を招聘し、デザインの視点の重要性を県内で広く発信、普及するセミナーを開催</p> <p>(3) 「政策デザイン」アドバイザーの設置 ・政策デザインの推進における総合的なディレクションやアドバイス業務を担う専門家を配置</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

ふくい政策デザイン推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,554					2,554								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				5,529	2,554	職員研修を減額								
2月現計予算額の推移				4,745										
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	「政策デザイン」相談を 経た事業のブラッシュ アップ件数	(目標) 実績		(10) 11	(10)			相談件数のうち約1/3程度について、仕様設定の段階から事業をブラッシュアップして執行						
活動指標	「政策デザイン」相談件 数	(目標) 実績		(30) 31	(30)	(30)	(30)	県民参加型の政策で、これまでとは異なる発想や新たなアイデアを必要とする事業を各部局3件程度						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
・政策デザインワークショップを31回実施し、11事業についてブラッシュアップした。				・職員研修を減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 2,975			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

「地方兼業」による高度専門人材誘致事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政 策 [11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]															
都市部を中心に、高度な専門知識を持ちながら、「兼業・副業」という新しい働き方により自身のキャリア形成に活かしている人材が増えている。本県でも、それらの高度な専門人材を「地方兼業」として受け入れ、庁内の業務のレベルアップにつなげていく必要がある。															
[事業目的]															
関係人口の拡大を目的として、都道府県レベルでは初めて「兼業・副業」に限定して募集した「未来戦略アドバイザー」について、長期ビジョンの広報戦略や庁内全体の業務に活用してノウハウを蓄積し、将来的に県全体に「地方兼業」という新しい働き方を広げ、「関係人口」拡大による地域課題の解決につなげる。															
[事業内容]															
<p>(1) 未来戦略アドバイザー（2期メンバー）の活用 データ分析等のエビデンスに基づいた政策立案（EBPM）の高度化を図るため、県職員への助言や提案などを行う (業務例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画策定に伴う県民アンケートの効果的な設計や分析方法への助言 ・ 県事業に参加した消費者の消費行動のビッグデータに対する分析、提案 ・ 県作成ホームページを活用した、デジタルマーケティングの視点での助言、提案 <p>(2) 未来戦略アドバイザー（3期メンバー）の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各部各課からニーズ調査をした上で必要な人材を確保し、活用していく。 															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	石川県、富山県では実績無し								

「地方兼業」による高度専門人材誘致事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,270	1,135			1,135	地方創生推進交付金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				4,841	2,270	Web会議活用による旅費等の減額								
2月現計予算額の推移				2,260										
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績							新たな政策立案手法の確立を目指すものであり、成果指標としての目標設定になじまない						
活動指標	未来戦略アドバイザーによる県政策へのアドバイス件数	(目標) 実績			(20) 25							未来戦略アドバイザーが、庁内の業務に対して自身のスキルを応用しアドバイスを実施 各アドバイザー5件程度		
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
アドバイザーの活用について、全庁照会など積極的に庁内に周知をしたことから活動目標は達成する見込み。 コロナウイルスの感染拡大を受け、一時SNSの更新を停止していたことから成果指標は達成が難しい見込み。				・Web会議活用による旅費等の減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 2,571			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

福井県DX推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営								■ 補助金						□ その他	
補助率	-															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [7 Society5.0時代の新産業創出]				関連する県の計画等		[]									
[解決すべき問題・課題]																
<p>県民の暮らしの質を向上するため、DX（デジタル・トランスフォーメーション）により地域課題を解決していくことが重要である。生活・産業・行政の3つの分野でDXを進め、デジタル技術により、一つでも多くの地域課題の解決を図る。</p>																
[事業目的]																
<p>デジタル技術により、暮らしや仕事の質の向上を目指すDXの考えのもと、地域課題とそれに携わるプレイヤー、民間企業等とテクノロジーをマッチングし、福井県内をフィールドとした実証の実施を通して、未来技術による地域課題の解決を図る。</p>																
[事業内容]																
<p>(1) デジタル技術による地域課題解決の機運醸成、人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民を対象としたDXセミナー ・ 県庁職員を対象としたDXオンライン講座の受講 <p>(2) シビックテックによる地域課題の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民発の地域課題のITによる解決（シビックテック）の推進に向け、地域課題の掘起こしとマッチングを図るワークショップを開催 <p>(3) 国内外の企業による地域課題解決のプロジェクト誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の企業やスタートアップ企業等が、地域とともに取り組む革新的な技術やサービスの社会実装に係る経費を支援 																
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人										
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									
市町との連携状況						他県の状況	(石川県) ・ 部局横断の5G利活用検討グループを立ち上げ。 (富山県) ・ 部局横断のデジタルガバメントPTを立ち上げ。 ・ DX対応職員の育成事業を実施									

福井県DX推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	41,635	20,817				20,818	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						41,635								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	解決に繋がった地域課題 の数 (目標) 実績					(8)			R3年度補助金採択予定件数：6件、マッチング等による課題解決：2件					
活動指標	プロジェクト補助金採択 件数 (目標) 実績					(6)			R3年度補助金採択予定件数：6件					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ビッグデータ活用推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営								□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等		[]									
[解決すべき問題・課題]																
<p>県内来訪者数やピンポイントでの滞在人口およびその属性、または検索エンジンによる検索ワードなど政策立案に有用な人流・検索データを把握するには、調査員による定点観測やアンケート調査などを行う必要があり、いつでも・どこでも・迅速に実施することは困難であった。</p>																
[事業目的]																
<p>データに基づいた確かな施策立案や迅速な成果分析などEBPMを実践するため、新型コロナウイルス感染拡大防止を契機に急激に進化しているビッグデータを観光や移住定住、産業などあらゆる政策分野に活用する。</p>																
[事業内容]																
<p>(1) 「Location Analyzer」と「DS. INSIGHT」の活用 ・各部の抱える課題に対し、データ分析により効果を検証</p> <p>(2) 職員向けビッグデータ活用研修の開催 ・使用方法や他県での活用事例などを紹介する研修会を開催</p>																
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人										
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									
市町との連携状況						他県の状況										

ビッグデータ活用推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	7,260	7,260			0		地方創生臨時交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移							コロナ対策のため2月補正に前倒し							
2月現計予算額の推移					7,260									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績								新たな政策立案手法の確立を目指すものであり、成果指標としての目標設定になじまない					
活動指標	ビッグデータの活用件数 (目標) 実績					(3)	(6)	(10)						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

多文化共生推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[福井県多文化共生推進プラン]								
[解決すべき問題・課題]															
今後県内在住外国人がますます増加することが想定される中、外国人が地域や職場において暮らしやすく働きやすい環境をつくとともに、県民との交流拡大により、日本人にとっても外国人にとっても住み続けたいと思える共生社会を実現する必要がある。															
[事業目的]															
新たに策定した福井県多文化共生推進プランについて、県内在住外国人への周知を図るとともに、プランの基本理念・施策目標に基づき、当事者相互のネットワークを強化し、多文化共生の地域づくりを推進する。															
[事業内容]															
<p>(1) 「ふくい多文化共生ネットワーク (仮称)」の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、市町、国関係機関に加えて、多文化共生の担い手である民間支援団体などで構成する新たな多文化共生の推進組織を構築 ・ 企業や民間支援団体、教育機関などが、それぞれの悩みや課題などを共有する情報交換会および全国の先進的な取組みを紹介するセミナーを開催 (2回/年) <p>(2) 多文化共生に取り組む団体等への応援金の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに策定した多文化共生推進プランの基本理念に基づき、外国人住民の暮らしの質の向上や共生の地域づくりなど、県内で多文化共生の推進や外国人支援に取り組む団体等の活動を応援 <p style="margin-left: 20px;">給付対象者：下記の要件を全て満たす企業、団体等 10団体 (令和3年度は4団体を想定)</p> <p style="margin-left: 40px;">① 県内に事業所を有していること ② 「ふくい多文化共生ネットワーク (仮称)」に参画していること</p> <p style="margin-left: 40px;">③ 多文化共生推進プランの実行に資する新たな活動を実施すること</p> <p style="margin-left: 20px;">給付額：300千円/年 給付期間：3年/団体</p> <p>(3) 多言語版 福井県多文化共生推進プランの製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県多文化共生推進プランを多言語翻訳し、県内在住の外国人住民に周知 (翻訳言語) 英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語・やさしい日本語 															
[受益者] —						[想定される受益者数] —									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	—					他県の状況	約20の都県で多文化共生推進プラン (指針、計画等) を策定								

多文化共生推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			1 年
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	3,155				3,155										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					3,155										
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績							日本人にも外国人にも暮らしやすく働きやすい共生社会づくり実現のための施策であり、成果指標としての目標設定にそぐわない。							
活動指標	応援団体数	(目標) 実績				(4)									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

人口減少対策データ分析・調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	県営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]															
<p>社会減は3年ぶりに改善したものの、対都市圏を中心に依然として高い水準 (R2 : Δ2,308人) 本県の状況は全国と異なる動きにあり、有効な対策を実施するためにはデータサイエンスに関するスキルを持つ人材による調査分析が有効</p>															
[事業目的]															
<p>人口データ分析のスキルをもつ専門家による人口減少の実態等の調査分析を実施し対策に活用する。</p>															
[事業内容]															
<p>(1) 人口減少に関する本県特有の要因や構造的課題を調査分析 (2) 分析データや国内外の事例を踏まえ、解決策を提案</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

人口減少対策データ分析・調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	県営											経過年数			2 年
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,200				2,200										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区分	分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					4,815	2,200	・委託件数見直しに伴う減額（2件→1件） ・委託先選定にかかる経費を減額								
2月現計予算額の推移					4,815										
決算額の推移															
前年度までの主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区分	分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	政策提案 (目標) 実績				(2)	(1)									
活動指標	アンケート調査等 (目標) 実績				(2)	(1)									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
○横浜市立大学(自然減に関するデータ分析) ・過去の施策のインパクト調査 ・上記を踏まえた、自然減対策の方向性提案 ○福井県立大学(産業構造等を踏まえた人口減少に係る政策提案) ・本県にゆかりのある人を対象としたアンケート調査 ・本県の社会・産業構造を踏まえた人口減抑制のための政策提案				・委託先選定および委託件数見直しに伴う経費を減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 2,615				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

政策企画調整費

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	県営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題]															
県政の課題への対応や新たな政策立案を迅速に実施していく必要がある															
[事業目的]															
新たな情報収集と政策づくりの仕組みの構築や政策参事会などでの部局横断的な検討の推進等により、政策課題の解決や全国のモデルとなる先進施策を立案する。															
[事業内容]															
<p>(1) 政策企画コーディネーター(仮称)の活用 ・ビジネスや地域づくり、最新技術等の分野の最前線で活躍する人材を委嘱し、適時の情報提供と企業等とのマッチング、調査依頼への対応などを実現する 新たな情報収集と政策づくりの仕組みを構築</p> <p>(2) 政策会議 ・各分野における県内外の有識者・第一人者をリストアップし、知事・部局長等が機動的に意見交換。提言を踏まえて新施策・事業を立案・実行</p> <p>(3) 政策参事会 ・部局横断型の政策参事会により、新施策・事業を立案・実行</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 政策推進マネジメントシステム強化事業 (実績) 政策アドバイザーなど有識者との意見交換や部局横断の政策参事会における政策検討により、新政策の立案・事業化を促進					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

政策企画調整費

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	県営											経過年数		
補助率	-											3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	6,000				6,000									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			4,420	1,960	6,000	政策企画コーディネーター経費の増額								
2月現計予算額の推移			2,345	1,960										
決算額の推移			1,244											
前年度までの 主な増減理由	R2：執行実績による減額													
[成果指標等の推移]														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績							課題に対応するための意見交換等を実施する事業であり、目標の設定にそぐわない						
活動指標	(目標) 実績													
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
・有識者との意見交換により優れた知見・提言の獲得に努めた			・新たな情報収集と政策づくりの仕組みを構築するため、政策企画コーディネーター経費を増額				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
							□ 継続	□ 休止	□ 完了					
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

嶺南振興プロジェクト枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	増田賢和	
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [9 100年に一度のまちづくり]]				関連する県の計画等	[福井県長期ビジョン、行財政改革アクションプラン、 福井県高速交通開通アクション・プログラム 他]						
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線福井・敦賀開業、さらには、大阪までの早期全線開業に向け、嶺南振興局が果たす役割がこれまで以上に高まる中、観光や地域振興、交通体制の整備、農林水産業の振興、関係府県の関係市町との連携など、嶺南地域の様々な課題への総合的な対応が必要である。												
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業、さらには大阪までの早期全線開業に向け、嶺南振興局が独自の予算を持つことにより、観光振興等の地域課題に対し、迅速に対応する。												
[事業内容]												
<p>(1) ハード枠 北陸新幹線開業に向け、これまで安全安心を最優先にしてきたため対応できていなかった観光地周辺の道路補修や景観整備を嶺南振興局長の権限で執行</p> <p>(2) 政策トライアル枠 嶺南振興局長の権限において試行できる枠予算で、成果を踏まえ、次年度の新規事業を立案</p>												
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客(延べ人数) 1,037万人(R元)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 土木部枠県単 (役割分担) 土木部枠県単は安全安心を最優先し、事業を実施する。嶺南振興プロジェクト枠では、北陸新幹線開業に向け、対応できていなかった観光地周辺の道路補修や景観整備事業を実施する。						
市町との連携状況	関係市町から意見を聞くなど、連携しながら事業を実施している。					他県の状況 ・岡山県 ハード枠 3.1億、ソフト枠0.15億(補助あり) ・鹿児島県 ハード枠 0.8億(補助)、ソフト枠0.2億(補助あり) など						

嶺南振興プロジェクト枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	増田賢和				
事業主体	県、市町				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			3 年
補助率	10/10、1/2														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	160,000				160,000										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				100,000	160,000	160,000									
2月現計予算額の推移				100,000	160,000										
決算額の推移				92,434											
前年度までの 主な増減理由	R2：北陸新幹線福井・敦賀開業の効果を嶺南全域に波及させるため、また、その先の大阪延伸までを見据えた地域づくりが急務であることから事業費が増加														
[成果指標等の推移]															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績								観光振興等の地域課題に迅速に対応するための事業であり、目標の設定にそぐわない						
活動指標	(目標) 実績														
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
ハード枠については、観光地周辺の道路補修や景観整備を実施した。政策トライアル枠については、主に観光振興、農林水産業振興の事業を実施し、令和3年度当初予算において4件の新規施策（新規事業2件、事業拡充2件）に繋がった。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

「WAKASAリフレッシュエリア」関西圏大学生発イメージ発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	増田賢和	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営			経過年数					2 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる (創造力) 政 策 [9 100年に一度のまちづくり				関連する県の計画等		〔 ふくい観光『トライ!』ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ 〕					
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線福井・敦賀開業、さらに大阪までの全線開業を見据える中、玄関口となる嶺南地域の関西における認知度はまだまだ低く、関西圏での嶺南地域のイメージ確立のための施策が必要である。												
[事業目的]												
今後の関西戦略として、嶺南地域のイメージ確立のため、関西圏の大学生を起用し、主に関西圏の若者に向け、観光だけではない交流体験、移住定住までを見据えたWAKASAの情報発信強化を図る。												
[事業内容]												
○関西圏における嶺南地域のイメージを確立させるため、関西圏の大学生と協働し、情報発信を強化 事業内容 関西圏の大学生（3グループ）が嶺南地域を体験し、プロモーションビデオを作成 プロモーションビデオを関西圏を中心にユーチューブ等で発信												
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客（延べ人数） 1,037万人（R元）						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 関西圏・福井ゆかりの関係者との意見交換事業 (実績) 政策トライアル枠において、福井にゆかりのある関西圏のマスコミ関係者等より意見を聴取し、当事業を立案した。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	・京都府（山城振興局） 大学生に山城地域の魅力を発信する動画制作を委託					

「WAKASAリフレッシュエリア」関西圏大学生発イメージ発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	増田賢和					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度		
事業実施方法	直営								□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	3,674	1,837			1,837		地方創生推進交付金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					3,674	3,674										
2月現計予算額の推移					0											
決算額の推移					0											
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	嶺南地域への観光客入込 数(実人数)(万人) (目標) 実績		432	(449) 510	(466)	(483)	(500)		北陸新幹線福井・敦賀開業時における嶺南地域への入込数500万人を目標							
活動指標	制作ビデオ視聴回数 (千回) (目標) 実績					(50)	(100)		令和3年度に映像を制作し、公開 北陸新幹線福井・敦賀開業までの総視聴回数10万回を目標							
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、関西圏の大学と調整した結果、事業開始を延期することとした。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

小浜線利活用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	斉藤輝幸			
事業主体	嶺南地域振興推進協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	補助金								□ 法定受託事務	□ その他			経過年数	2 年
補助率	県1/2、嶺南広域行政組合1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]		政策	[9 100年に一度のまちづくり]		関連する県の計画等		嶺南地域公共交通網形成計画、ふくい観光『トラ イ!』ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン ～、福井県高速交通開通アクション・プログラム					
[解決すべき問題・課題]														
北陸新幹線福井・敦賀開業を控え、敦賀以西の嶺南地域への誘客に当たり、敦賀・若狭エリアと北近畿エリアとの広域観光連携が必要である。														
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、「丹後くろまつ号」のJR小浜線乗入れ運行を継続して行うことにより、地域住民の機運醸成および小浜線を活用した嶺南地域への誘客促進を図るとともに、敦賀・若狭エリアと北近畿エリアを結ぶ新たな観光ルートの創造を目指し、北近畿との広域観光連携によるインバウンドの誘客促進を図る。														
[事業内容] ○観光列車のJR小浜線乗入れ運行に係る経費の補助 運行日数：4日間 定員：30人／コース 開催時期：嶺南地域において大規模イベント等が開催されている時期														
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客(延べ人数) 1,037万人(R元)								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 海湖と歴史の若狭路発信事業実行委員会 (実績) 実行委員会事業として、「御食国・和食の祭典in若狭路2019」の関連イベントで、「丹後くろまつ号」の小浜線乗入れ運行およびレストランバス運行を実施					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	・嶺南6市町が拠出した負担金で造成した「嶺南鉄道整備促進基金」を活用 ・市町によるおもてなし等の企画・実施					他県の状況								

小浜線利活用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	斉藤輝幸				
事業主体	嶺南地域振興推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	補助金												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	県1/2、嶺南広域行政組合1/2														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	5,000			(入) 5,000	0	地域振興基金（若狭湾快速鉄道の建設基金）									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					3,000	5,000	運行日数の拡大、インバウンド向けプロモーション等の検討のため、委託費を増額								
2月現計予算額の推移					3,000										
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	乗車人数（人） (目標) 実績				(216) 200	(320)			令和3年度：30人/便×3便/日×4日×9割						
活動指標	(目標) 実績														
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
新型コロナウイルス感染症対策として定員を削減したため、成果指標は達成できなかったが、定員200人（定員20人×10コース）が満席となった。				・運行日数の拡大やインバウンド向けの企画、宿泊を含めた旅行商品の企画を検討し、成果指標の達成を目指す。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

嶺南地域観光消費拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	斉藤輝幸	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数					2 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等	[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]						
[解決すべき問題・課題]												
2019年の宿泊旅行調査によると、福井県の課題のひとつに現地での消費額が少ないことが挙げられており、北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、観光客が現地に 来てからの周遊を促し、消費拡大を促す必要がある。												
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、観光客に現地に来てからの周遊を促し消費拡大を目指すため、嶺南観光LINEアプリ「とれくるPON」の機能を拡充させる。												
[事業内容]												
○観光客への周遊促進による消費拡大事業 ・嶺南観光LINEアプリの維持管理 ・嶺南地域の観光情報の発信 (月1回程度) ・インバウンド需要に対応するための多言語翻訳 ・アプリの周知用ツールの制作 (チラシ・卓上広告・のぼり・ステッカー)												
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客 (延べ人数) 1,037万人 (R元)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町と協力して登録店舗への選定・依頼 ・各市町の公共施設への協力					他県の状況	・群馬県 毎週金曜日に観光情報やイベントなどの県政情報発 H31年2月開始 友達登録者8,765人 (R2.3.5現在)					

嶺南地域観光消費拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	齊藤輝幸			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											2 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,810		2,905			2,905		地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					6,245	5,810	アプリへの情報発信機能追加等が完了したため、その費用を減額							
2月現計予算額の推移					992									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	経済効果(推定) (千円)	(目標)			(6,000)	(9,000)	(12,000)		経済効果推定式：クーポン発行数×3千円					
		実績	504	5,058	8,493									
活動指標	友だち登録者数(人)	(目標)			(2,000)	(3,000)	(4,000)		毎年登録者を1千人増					
		実績	168	1,686	2,831									
[事業の評価]														
前年度の実績					実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
アプリ「とれくるPON」に、随時観光情報を発信する機能を追加した。 また、友達登録者数が2,831人となり、活動指標を達成した。					インバウンド対応に向けたアプリの多言語翻訳、店舗募集等を行い、成果指標の達成を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 435		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

農産物の販路拡大支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	農業経営支援部		課長名	川上哲治		
事業主体	民間事業者				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R1 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	補助								経過年数	3 年				
補助率	県1/2													
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]							
[解決すべき問題・課題]														
嶺南地域では、大規模園芸施設を中心とした生産拡大に伴い、増加した園芸生産物のさらなる販路拡大が必要とされている。														
[事業目的]														
嶺南地域の農産物等の販路拡大や知名度向上を図るため、県内事業者が行う県外へのアンテナショップや飲食店等の開設を支援する。														
[事業内容]														
○県内事業者が行う県外へのアンテナショップや飲食店等の店舗整備、設備導入に対する支援を実施 事業期間 令和元年度～4年度 補助率 県1/2 補助上限額 300万円 (店舗売上が年間1億円程度見込まれる場合、500万円)														
[受益者] アンテナショップ等への出荷生産者および出荷業者						[想定される受益者数] 出荷生産者 1,500人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	アンテナショップを、関西における若狭全域の共有拠点として位置付ける。その上で各市町にもアンテナショップを魅力発信の場として活用してもらう。(観光案内、イベントの開催など)					他県の状況	・岡山県美作市 大阪府箕面市にアンテナショップを展開し、地産外商に加え、交流室・実習室を備え、美作地域の情報発信を実施 ・徳島県 大阪市にアンテナショップを展開 ・北海道 大阪府豊中市にアンテナショップを展開							

農産物の販路拡大支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	農業経営支援部	課長名	川上哲治		
事業主体	民間事業者				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	補助												
補助率	県1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,000				5,000								
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				0	5,000	5,000							
2月現計予算額の推移				5,000	0								
決算額の推移				5,000	0								
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	嶺南地域の園芸産出額 (億円)	(目標)		(15)	(16.2)	(17.5)	(21)		他事業との連携により、令和2年度から令和5年度にかけ、嶺南地域の園芸産出額30%向上を目標				
活動指標	アンテナショップ等の開設 (件)	(目標)		(1)	(1)	(1)			各年度1事業者以上を支援				
		実績		1	0								
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
新型コロナウイルス感染症の影響による関西圏の状況を踏まえ、事業を中止することとした。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

三方五湖エリア広域バス実証運行支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	斉藤輝幸			
事業主体	嶺南広域行政組合				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助金													
補助率	県1/2、嶺南広域行政組合1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		福井県三方五湖エリアステップアッププログラム、嶺南地域公共交通 [網形成計画、ふくい観光『トライ!』ビジョン、FIRST291～北陸新幹 線開業プラン～、福井県高速交通開通アクション・プログラム]							
[解決すべき問題・課題]														
三方五湖エリアにおける駅からの公共交通がコミュニティバスなどに限られるため、公共交通機関で来県する方々や住民の移動の利便性向上を図ることが課題である。														
[事業目的]														
令和3年度から令和5年度にかけて、広域バスを軸とした二次交通のあり方を検証する取り組みを支援する。														
[事業内容]														
○広域バスの実証運行や利便性等に関する調査を行い、三方五湖エリアに適した、持続可能な広域バス等のあり方を検討する。														
(1) 広域バスの実証運行を支援 三方五湖を周遊する乗合バスを有料で運行(運行日数は20日間程度)														
(2) 実証運行バスの利便性等に関する調査を支援 バス利用者アンケートや専門家による検証を通じた利便性やニーズ等の調査														
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 広域バス利用者数 10,000人 (R5)								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況					他県の状況									

三方五湖エリア広域バス実証運行支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	斉藤輝幸			
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助金					経過年数	1 年							
補助率	県1/2、嶺南広域行政組合1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	4,508			(入) 4,508	0	地域振興基金（若狭湾快速鉄道の建設基金）								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						4,508								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	バスを運行する事業所 (件)	(目標)				(1)			採算可能な料金と利用者数を確保し、令和6年度以降に民間事業者によるバスの継続的な運行を目指す					
活動指標		(目標)												
		実績												
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				